

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0550
施設名	旭保育園
施設所在地	板橋区大山金井町56-1
法人名	社会福祉法人昭和会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

ボルダリング

<テーマの設定理由>

前年度から引き続き、運動と思考を同時に鍛えることの探究活動としてボルダリングを選びました。楽しみながら体力、集中力、課題解決能力等の向上をねらいます。

## 2. 活動スケジュール

令和7年4月から令和8年3月まで

毎週水曜日の体操指導中 4・5才児クラス

または普段の保育活動中 2～5才児クラス

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

園舎多目的ホールにボルダリングの壁を作りました。

専門の業者に難易度別に3つのルート設定をしてもらい、それぞれのルートに色分けしたホールドをつけてもらいました。今年度はさらにホールド数も増やし、チューブの障害物も加えました。使用時のマットは昨年度より安全性の高いものを用意しました。

壁が真っ直ぐではなくカーブしているので形状の面白さもあります。

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

4・5歳児クラスの体操指導では、外部講師の指導をもとにボルダリングに取り組み、自分で登り方を考えながら挑戦する姿を大切にしています。

安全に関する約束も繰り返し確認しています。

2・3歳児クラスでは遊びの中で取り入れています。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

4・5歳児クラスの体操指導では、「ここに足を置いたらいけたよ」「次はあっちから登ってみる」など、子ども同士で声を掛け合いながら取り組む姿が見られます。  
うまくいかない場面では「どうしたらできるかな」と保育者が問いかけることで、自分なりに考え直し、繰り返し挑戦する様子が見られます。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

振り返りを通して、子どもは自由に取り組める時間や、自分で考える余地があることで、より意欲的に挑戦する姿が見られると感じました。

また、友達同士の関わりの中で動きを学び合う姿も多く見られ、環境設定や関わり大切さを改めて実感しました。